

令和5年度
幼保連携型認定こども園 国富こすもす保育園
自己評価の公表

評価分類	評価項目（目標）	自己評価		
		A	B	C
教育課程／保育の計画性	1 園の教育保育理念や教育方針を理解している	0%	100%	0%
	2 園の教育保育方針に共感している	0%	100%	0%
	3 園のめざす幼児の姿を具体的にイメージできる	0%	100%	0%
	4 園の教育保育課程を理解し、それを元に教育保育の計画を立てている	0%	100%	0%
	5 園の教育保育課程は園長を中心として保育教諭と協力し合い構成している	0%	100%	0%
	6 園の方針を指導計画や保育に生かしている（生かそうと努めている）	0%	100%	0%
	7 指導計画は教育保育要領、教育保育課程、幼児の実態をもとに、幼児の興味関心や活動経験、これから予定している生活を考慮して作成している。	86%	14%	0%
	8 幼児の実態把握に努め、園生活が豊かで充実するような行事や活動を計画している	71%	29%	0%
	9 長期・短期の指導計画は、それぞれの目的やマンネリ化を考慮しながら、幼児の実態と周囲の変化に対応出来るように作成している	72%	14%	14%
	10 保育教諭の願いや意図をもち、幼児の活動が充実するように活動の展開に応じた環境を構成（再構成）している	71%	29%	0%
幼児理解／保育の在り方	11 園児一人一人に一日一回は声掛けをし、良さを認めたりする心がけている	64%	36%	0%
	12 園児の話をよく聞き、言葉で表現できない思いやサイン（心の内・心の動き）を受け止めるようにしている	64%	36%	0%
	13 園児一人の姿を観察しながらも、周囲にも目を配ることができる	9%	91%	0%
	14 園児の姿から友だちとの関わり方や家庭での姿を想像したりするなど、多面的にとらえることができる	36%	64%	0%
	15 園児を褒めたり、励ましたり、目当てを持たせた活動ができるような言葉かけを心がけている	64%	36%	0%
	16 園児の気持ちに共感しながら、遊んだり、遊びが深まるような支援を心がけている	64%	36%	0%
	17 園児の年齢や発達に応じた関わり方、保育を心がけている	45%	55%	0%
	18 園児同士のトラブルに対しては、適切な対応をしている（※上司や同僚に支援や相談を求めたりしている）	45%	55%	0%
保育者としての資質・能力	19 明るく元気な挨拶ができ、服装や身だしなみ（保育をする上での安全性や清潔感）が常に整っている	91%	9%	0%
	20 自分のクラスだけでなく、在園児の名前とクラスがわかる	100%	0%	0%
	21 業務に集中し、適切な言葉づかいで対応することができる	45%	55%	0%
	22 自分の担当業務（勤務業務）に責任を持ち、職務を遂行出来ている	64%	36%	0%
	23 周りのこと（子ども・保護者・職員等）に良く気付き平等に配慮や協力が出来ている	45%	45%	10%
	24 不明なことは必ず確認したり、すべきことを後回しにしたりせず、「報・連・相」を意識した実践をしている	45%	55%	0%
	25 その日の園の計画や園児の一日の生活の流れを把握し、必要に応じてメモをとる習慣を心がけている	36%	64%	0%
	26 園舎内外（全体）の環境衛生・安全整備を意識し、清掃や整理整頓を心がける行動をしている	18%	82%	0%
	27 業務の内容を理解し、誠実、迅速、手順よく遂行することができる	45%	55%	0%
	28 組織の一員という自覚のもと、保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がけている	36%	64%	0%
情報発信／守秘義務／支援能力	29 担任としての考え、保育方針、クラスや園児の様子等については、参観日やクラスだより等で知らせている	86%	14%	0%
	30 入院や病気による長期欠席の場合は、保護者の思いを察知・想像した対応（例：2日以上連続した欠席はお見舞いの電話をする等）を心がける	100%	0%	0%
	31 一人一人の園生活の様子や成長の様子を連絡帳を活用して伝えたり、直接お話ししたりしている	100%	0%	0%
	32 保護者からの質問や要望等については、即答や安易な回答をせず、園長、主幹に報告・相談をして共通理解を図るようにしている	100%	0%	0%
	33 受持ちの園児や在園児とその家族に係る個人情報に決して口外したり、情報を持ち出ししたりしない（個人情報の取り扱いを守っている）	0%	100%	0%
	34 保護者への支援・協力が必要な事案（経済的・労働上）は、園長と協議し具体的な協力の在り方について対応している（個人判断はしない）	86%	14%	0%
	35 保護者の話は丁寧に聞き、必要に応じて自分の考えをきちんと伝えるように心がけている	86%	14%	0%
	36 保護者と親しくなりすぎないように、言葉遣い（話し方）に気を付けて、常に職員としての毅然とした態度で接したり、電話等の対応では相手の顔が見えない分、慎重に対応したりしている	71%	29%	0%
	37 外部からの電話応対や来客に対しては、明るく丁寧な対応をしている	91%	9%	0%
	38 園の近隣住民や地域の人々とは明るく気持ちよい挨拶をしている	91%	9%	0%
社会地域との関わり	39 地域の自然や施設・機関を把握し、指導計画（活動計画）の中で生かそうとしている	29%	71%	0%
	40 必要に応じて小学校・中学校との交流・連携を図るように取り組んでいる	50%	50%	0%
	41 認定こども園の特色を生かした活動を通して、保護者や地域への発信を心がけている	0%	71%	29%
	42 地域の特性（地理・地形）を理解し、災害時等の対応方法（避難場所や避難経路等）がわかる	36%	64%	0%
研究への意欲と態度	43 （園内・園外を問わず）研修会や研究会では自分の意見を積極的に発信している	43%	43%	14%
	44 自分の保育については自己課題をもち、計画を立て、実践し、反省を行っている	71%	29%	0%
	45 自分の保育に関する課題や悩みは、出来るだけ同僚や上司に相談して、一人で抱え込まないようにしている	27%	64%	9%
	46 自らの得意分野を確立したり、拡充したりするために研修・研究（書籍や研究会）に努めている	28%	45%	27%
	47 保育で使用する遊具や教材について、その利用方法や工夫・改善を意識した研究（事前・教材研究）に努めている	57%	29%	14%

【園全体の評価と課題】

- ・評価項目の1～6については、園則・新年度説明会資料・ホームページでの統一ができておらず、早急な統一を理事会を交え行う必要があるという課題が見えてきました。6年度の評価に間に合うように整えることで、A評価の増加を促していきたいと思います。
- 33番については、職員が家に持ち帰って、アルバム制作や園児の記録をしている為のB評価になります。口外の事実はございません。
- ・今後、担当児の年齢や、職種の違いで、評価項目を設定することで、よりよい評価を行えるように改善が必要だと思いました。
- ・初めての自己評価で、職員が徹しく評価してくれている事が分かり、今後の教育・保育の質の向上が見込めると確信できました。保育指針に基づき、毎年、きちんと自己評価を行い、向上に努めていきたいと思っています。